

活動ノート



3月27日(日)
アカマツ林除伐作業
9:30~16:15

◆参加者: 松雪、榎、国広(信)(友)、橋本、井上、鎌田、吉田、今林、岩尾、静間、新地、雪丸、塚本(体験) 計14名



◆内容: いつものようにミーティングや道具準備、準備運動を終え、10時15分頃にはアカマツ林に到着しました。今日の予定は、3班に分かれてのC・D・F地区で大きな日陰を作っている、あるいはアカマツの生長を阻害しているクスノキ・タブノキ・コナラの除伐です。

各班とも、これまで経験の比較的小さい直径25~30cmの強の大径木の伐倒となり、色々としてこする作業となりました。C地区班では、クスノキの周りにヤブが繁茂し、またこれまでに除伐した枝が乱雑に散らばっていたため、作業場周辺の整備にほぼ午前中一杯かかりました。D地区班はタブノキの重心と反対方向に伐倒することとなったため、受け口・追い口切りはうまくいったものの、ロープを使った伐倒に難行苦行ということとなりました。また、直径31cmのコナラを伐倒する

F地区班では、幹の真ん中がいびつにくぼんでいたため受け口切りに苦勞するとともに、枝が四方八方に伸びていたため枝処理にも大きな労力を費やしました。

最終的には、時間は超過してしまいましたが各班とも無事に大径木の伐倒と後片付けを終えることができ、その後現地での振り返りや道具整備をして解散しました。

【ふりかえりより】

- ・手鋸で伐採作業は久々に楽しかった。入会して今後もお手伝いしたい。(塚本)
- ・リーダーやってみたけど、まだまだリーダーになれていなかったなので経験値をためて指示できるようにしたいです。(吉田)



4月10日(日)
アカマツ林除伐及び幼木移植・間引き作業
9:30~16:00

◆参加者: 松雪、榎、国広(信)(友)、静間、川上、林、橋本、長澤、鎌田、神田、新地、今林、井上、吉田、雪丸、新川、毛利、村山 計19名

◆内容: 今日は19人という近年まれに見る大人数の参加でしたが、「博多時間」も関係なく定刻



には全員が揃いました。いつものように、ミーティングや道具準備、準備運動を終え、10時半頃から前回と同様3班に分かれて作業を開始しました。

まず第1班は、3月27日の除伐作業に引き続き形で、C地区西側斜面で大きな日陰を作っているタブノキの除伐を行いました。この班ではまず簡単な作業道づくりから始め、午前中に1本、午後に2本の直径25~30cmの大きな木を伐倒しました。人数的には5名とやや少なかったこと、また材処理する作業足場が悪かったため、処理作業を今後の作業として残しましたが、予想以上の伐倒ができました。

第2班も、前回に引き続き形で、C・D地区境界で直径20~25cm程度のタブノキを除伐したほか、ユズリハの大きな枝を切り落としました。この作業エリアはこれまであまり手を入れていなかったこともあって、ヤマフジ



などのツルが繁茂しており、そのため掛かり木となって伐倒にかなり苦労しました。ただ最終的には、今回初めて使用したチルホールや高枝用ノコが威力を発揮し、無事に伐り倒すことができました。

第3班は、柏陵高校生物部のメンバーを中心に、F地区でアカマツ幼木の生長を阻害しているコシアブラ(直径約20cm)の除伐を午前中に行いました。午前中は伐倒木の材処理のほか、他のアカマツ幼木の生長を阻害していた、伸びの悪いモヤシ状のアカマツ成木(直径10cm弱)を初めて伐採しました。午後からは、3月21日に「移植用・間伐用・生長調査用」に分別していた、アカマツ幼木うち、移植用のものについて採取と間引きを行いました。最終的には40本程度の移植用木を採取し、そのうちの30本程度を柏陵高校生物部の研究用と管理事務所の移植用にし、その残りはA地区を中心にD～F地区のギャップ地に移植しました。

【ふりかえりより】

- ・谷側に曲がった立木の伐採は少し難しかった。(長澤)
- ・大ノコには気を付けましょう。(神田)

4月17日(日)

カブ森整備(除伐)と植生調査

9:30～15:00

◆参加者：静間、橋本、林、榊、神田、長澤、篠原、柴戸
計8名

◆内容：折からの熊本地震の影響で来られなかった方もあり、作業参加者が6名だったので、当初予定していたホオノキなどの大木伐採は止めて、カブ森全体を散策



しながら今後の伐採対象木を確認していきました。C地区は特に下層植生が華やかで、カキドオシとフデリンドウが花盛り、ハウチャクソウも蕾ができていました。ユーモラスなマムシグサが沢山出てきた様子も楽しめましたが、本物のヘビも2匹登場しました。新緑が出始めた森からはキビタキ、アオゲラの声が聞こえて初夏の到来を感じました。11時半から2組に分れてリョウブ、アカメガシワを伐採し、材処理をしたところで昼食。午後もし引き続きリョウブ、アカメガシワ、ハゼノキ、ホオノキなどの小径木を伐っていきました。萌芽枝、実生やササ、イタドリなどの除去もしました。所用で早めに帰る人もいたので、14時過ぎに作業を終了15時までに解散しました。

植生調査は、世話役と助役の2名で行いました。昨年度と同様に、カブ森A地区の4区画で、花・蕾・果実のいずれかがあった種を記録しました。昨年度と特に目立った違いはありませんでした。キクムグラ、マムシグサ、カキドオシ、ムラサキケマンが多く見られました。ツボスミレやナガバタチ



ツボスミレも、ちらほら見ることができました。次回は、秋に行う予定です。

【ふりかえりより】

- ・さわやかなお天気で気持ちの良い作業でよい一日でした。(榊)
- ・昨夜の大雨一過、すがすがしい一日だった。気持ち良く過ごせた。(林)

5月8日(日)

安全講習会

9:30～16:40

◆参加者：榊、鎌田、静間、林、国広(信)(友)、井上、雪丸、吉田、今林、森山、前田、吉永、藤木、篠原、橋本、神田、新地、織田(体験) 計19名



◆内容：まず、ミーティングルームにて、今日の安全講習会の内容を話して、担当(係)をお願いしました。A班は、代表による座学講習：「森会の活動の紹介と安全な作業について」を行った後、準備体操をして、アカマツ林を見学、その後カブ森へ移動しました。

B班は道具準備の後、準備体操をしてカブ森へ移動しました。カブ森で、ホオノキ(直径35cm・樹高16.5m)の伐倒作業を通して安全作業実習を行いました。助役の指導のもと、受け口、追い口作りを行い、お昼前に伐倒が終了しました。続く材処理は、12時を過ぎても終わりそうになかったので、折から到着したA班と共に昼食タイムとしました。

昼食後は引き続きホウノキの枝葉の処理を全員で行い、カブ森C地区へ移動しました。C地区ではスギ(樹高17m、直径28cm)で伐木安全作業講習を行いました。柏陵高校からの新入生を中心に伐採を行い、枝葉の処理を全員で行いました。ノコの使い方や、身体の構え方などを注意しながらの作業で時間がかかりましたが、初めての体験なので、みんなで一緒に応援しながらやりました。

【ふりかえりより】

- ・新入生に森会のおいたち、作業のことなど色々話しましたが、活動の中で確認して貰えたらうれしいです(鎌田)
- ・懸案だったホウノキが安全に伐採できて安心しました(静間)



5月22日(日)

アカマツ林作業

9:30~15:20

◆参加者: 榎、静間、林、雪丸、橋本、新地、吉田、長澤、国広(信)(友)、神田、織田、栗田、前田、森山、藤木 計16名

◆内容: 道具の準備、準備体操を行いアカマツ林へ移動しました。アカマツ林にて、今日の作業現場を説明・確認してから、安全講習の続きとして、新入生と先輩を中心に、E地区・A地区の草刈り作業を行いました。残りの班は、D地区の大きなタブノキの予備間伐として、下部にある小木の除伐作業を行いました。一方C地区



では、同地区下部に新たに作る処理材置き場の整備に取り掛かりました。

昼食後も、続きの作業を行いました。C地区処理材置き場造成の進捗に伴い、D地区の除間伐作業で出てきた処理材は、新しい置き場に搬入処理を行いました。道づくり班は、途中まで上手にできましたが、時間が足りなくなり途中で終わりました。

【ふりかえりより】

- ・午前のマツの周りの草刈りも、午後の道づくりもきつかったけど、楽しかったです。(森山)
- ・今日は天気が良く、アカマツ林日和で、気持ち良かった。(雪丸)



6月12日(日)

カブ森整備作業一下草刈り

9:30~12:45

◆参加者: 鎌田、国広、長澤、森山、藤木、榎、橋本、松雪、静間 計9名

◆内容: 当初の計画ではA-C地区全てで作業する予定でしたが、天候や人数からB地区遊歩道周辺を中心に作業を始めることにしました。

作業を始めるに際して、クヌギ



の萌芽枝、実生を刈らない様に実物を見ながら確認、A地区との境界から数名ずつに分れて作業に入りました。

斜面の作業は今回見送りましたが、川沿いはイタドリ、オカウコギや、アラカシ、ヤブツバキなどの萌芽枝が繁茂していたので刈り取りました。

作業を早めに切り上げたので、引き上げる前にA地区のツチアケビの花、ウマノスズクサとそれを食草としているジャコウアゲハの幼虫などを観察しました。B地区ではヒメシャラが満開で、遊歩道に沢山の花が落ちていました。天候の加減から思っていたより気温は低く、衛生害虫も全くと言って良いほど現れず、快適に作業することが出来ました。

【ふりかえりより】

- ・カマを久しぶりに握りました。ツチアケビの花を初めて見ました。(長澤)
- ・クヌギの実生、萌芽枝が大きくなっていくのが楽しみです。(国広)

